

カトリック六甲教会 教会報

2015

8

No.524

「聖母の被昇天」に寄せて

宣教部 荏原

8月15日は「聖母の被昇天」の祭日です。マリア様の地上での最期について聖書には何も書かれていませんが、教会は古くからの伝承に従い、神の母が永遠の命に入られたこの日を祝ってきました。エルサレムに残された5世紀の「マリアの就寝」という文書は、この世で最期を迎えたマリア様が通常の死を免れ、使徒たちの祈る中、天から迎えに来られたイエス様によって天に上げられた、と伝えています。元来、東方教会で祝われていたこの祭日(最初は1月、後に8月に移動)がローマにもたらされたのは7世紀のことで、“Dormitio”(〔聖母の〕就寝)という当初の名称は8世紀末には“Assumptio”(天に上げられること＝被昇天)に変わり、以後カトリック教会は、イエス様と深く結ばれたマリア様が、霊魂と共に肉体を備えて復活の栄光にあずかったこの出来事を盛大に祝ってきました。

古い伝承に由来する「聖母の被昇天」ですが、マリア様が霊魂と共に肉体も天に上げられたという教義が正式に公布されたのは20世紀半ばの1950年11月1日、当時の教皇ピオ12世の使徒憲章によるものでした。教義制定の一因となったのは、1854年から1945年にかけてバチカンに寄せられていた、制定を要請する膨大な数の請願です。請願者の内訳は1,332人の司教(当時の全司教座数の80%)と8万3000人の司祭、修道者、800万人の信徒でした。これほど多数の請願が寄せられた背景には、1854年、ピオ9世による「無原罪の御宿り」の教義制定以降、一気に高まったマリア様への信心があったと言われています。

日本では8月15日はお盆で、仏教の伝統では死者の霊との交流の日とされています。カトリック教会でもこの日はある意味、死後に思いを馳せる日とも言えるでしょう。それは神の民の先達として、「もはや死のない」世界に体ごと召されたマリア様の受けられた栄光を祝い、私たち自身の永遠の命を願う日だからです。

参考 URL:

カトリック中央協議会: http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/memo/maria_815.htm

Bayard 出版社の運営サイト

<http://www.croire.com/Definitions/Fetesreligieuses/Assomption>



ナルドの花たより ～教皇フランシスコ ツイートより～

私たちに真の自由と幸福を与えるのは、いつくしみ深いキリストの愛です

That which gives us true freedom and true happiness is the compassionate love of Christ.

(2015/7/5)

病者、助けを必要としている人たちを手助けする人は、私たちのただ中で生き、現存するキリストの体に触れています。

The one who helps the sick and needy touches the flesh of Christ, alive and present in our midst.

(2015/7/23)

教会は、弱者に対して常に思いやりを持ち、気遣うよう、招かれています。

The Church is called to be ever more attentive and caring toward the weak.

(2015/7/21)

あらゆるものが崩れ去った時、ただ一つの希望はこれです。神は私たちを愛し、全ての人を愛しています！

When everything falls apart, only one thing sustains our hope: God loves us.

(2015/7/17)

今こそ頭を切り替え、私たちの行動が飢えに苦しむ人にとって無力だと考えるのをやめる時です。

Now is the time for a change in mindset and to stop pretending that our actions do not affect those who suffer from hunger.

(2015/7/16)

大きな課題です。全ての人々がそれを享受できるよう、神が私たちに託した園の破壊を止めなければなりません

A great challenge: stop ruining the garden which God has entrusted to us so that all may enjoy it.

(2015/7/2)



2015 年度第 2 回小教区評議会議事録

- ★ 日 時 : 2015 年 7 月 12 日 (日) 12:30～14:40
- ★ 場 所 : 信徒会館 第 4 会議室
- ★ 出席者 : アルフレド主任司祭、高山神父、議長団、評議員、その他関係者

1. 主任司祭挨拶

これから夏の行事、教会学校のキャンプ、および教会全体としての納涼の夕べの準備もあと 1 カ月となり、皆さんで協力して取り組んでいただきたい。

2. 協議事項

(1) 典礼聖歌集について(継続案件)

前回の評議会、聖堂ロビーの混雑防止のため、典礼聖歌集を椅子の前の台に置く事が提案され、これを実行するためには、典礼聖歌集を 100 冊購入する必要が報告された。

審議の結果、教会予算より購入することに決定。

(2) 財務報告会の運営について

6 月 14 日(日)10 時ミサ後に開催された財務報告会について、報告の仕方(表示されている数字が小さい、スクリーンが小さい等の表示の改善、業務別でなく統一された報告)および財務報告会のアピールの仕方(参加人数のアップのため)等工夫する余地がある。

議長、副議長で上記問題点を改善し、評議会の承認を得て、来年の報告会に備える。

(3) 海星病院聖堂の使用について

海星病院聖堂使用について、海星病院との契約が終了し、運営に携わっている集会祭儀司式者の集まりで、これまでに実施されていたミサとみ言葉の祭儀を一旦リセットすることが決定された。審議の結果、今後の活用について評議会の議長団で検討し、次回の評議会に諮ることになった。

(4) 六甲教会の安全対策について

現在は、事務所が休みであっても聖堂を訪問される方、お祈りされる方のために、聖堂の入り口を開けているが、教会の建物の構造上、全館に立ち入ることができるので安全上問題があり、その対応が提案された。

審議の結果、2015 年 9 月より事務所の休みの場合、および朝ミサ後から事務所が開く 9 時までについては、小聖堂東側のドアのみ開放し、聖堂入り口を閉める安全対策を実施する事になった。

ただし、事務所の休みの日に教会の使用を事前に予約されている場合は除く。

(5) ネパール募金の送付先をカリタスにすることについて

5 月に実施したネパール地震災害に対する募金は、総額 662,083 円となった。

この募金については、カリタスを通して、全額ネパール地震災害の義援金にすることに決定。

3. 報告事項

(1) 聖堂内赤絨毯の取外し結果について

5 月 18 日に赤絨毯取外しと収納について調査を行い、特に問題がないことを確認した。

また赤絨毯を取外して、「高齢者の方が歩き易くなった」「掃除がやり易くなった」との意見はあるが、不都合との意見は特になく、従って、聖堂内の赤絨毯を結婚式以外は取外すことに決定。

(2) 2015 年 7 月度「神戸地区宣教司牧評議会」報告

- ・洲本教会より、聖堂建設資金のための募金のお願いに、7 月 19 日(日)10 時に訪問したいという申し出があるが、当日は子供のミサの中で、新しい侍者の祝福式があり、訪問日の変更を依頼する。(8 月 2 日(日)訪問に変更)
- ・2015 “ふっこうのかけ橋” 準備状況について
8 月 6 日(木)～10 日(月)総勢 90 名(子供 50 名、引率 40 名)で「三木山森林公園」「アジュール舞子」などで実施される「2015 ふっこうの架け橋」について、総予算 165 万 7 千円に対し、収入見込 151 万 5 千円(内前年残高 65 万 6 千円)で約 14 万円不足する見込みとの中間報告があり、地区評議会の予備費 8 万円を支援することが承認された。
- ・5/31(日)神戸地区大会は、参加者が約 600 名(前回洲本 800 名、前々回篠山 750 名)であり、地区長から「地区大会の意義を考える」必要性を訴える発言があった。
次回は東・北ブロックが担当する。

(3) 「5/24(日)東ブロック合同堅信式」の報告

- ・5/23 (土) 14:00～17:00 勉強会、リハーサルを行ったが、リハーサルで事前に実際の式の流れが、詰められていなかったのでは時間がかった。
- ・受聖者 六甲 14 名、住吉 5 名、兵庫 1 名 神戸中央 10 名 計 30 名
- ・6/20(土)の反省会で次回、神戸地区大会と東ブロック合同堅信式が重ならないようにしてほしいとの要望を東ブロック会議に提案することになった。
- ・堅信式は重要な秘跡であり、1 カ月前から共同祈願を行う方が良いとの意見があった。
- ・堅信式後のフォロー研修が、大切であるとの意見があった。

(4) 「5/31(日)神戸地区大会」の報告

- ・どの小教区においても「神戸地区大会」の意義が十分に伝わらず、参加者が少ないという現状がある。意識して「地区」というつながりを地区大会のような機会に、もっと積極的に PR していかなければならない。
- ・実行委員は、本来各教会で 2 名のため、次回から六甲教会も 2 名出ていただく方が望ましい。
- ・イベントの内容について、全ての世代を満足させるのはむずかしいと感じたが、ミサが終了すると帰る人が多いとの指摘もあり、魅力的なイベントの構築が今後の課題。
- ・地区評議会と実行委員会との連携がスムーズではなかった。

(5) 納涼の夕べについて

- ・パンフレットとポスターが出来上がり、パウロ書店、神戸中央教会、住吉教会へ配布する。
- ・8 月初旬教会周辺にパンフレットを配布する。

(6) その他各部、各会からの報告

(典礼部)

- ・6/15、16 オルガンの定期点検と調律を実施。その時、オルガンが六甲教会に移設されて 5 年が経過し、内部の消耗部品を交換する時期に来ているとの指摘があった。
交換した場合の見積もりを取る予定。
- ・7/18(土)音楽関係奉仕者の集まり。 独唱者、オルガン奏者の実技練習を行う。
- ・9/13(日)祈りと音楽の集い。 今回は、歌とバイオリンで典礼聖歌、グレゴリオ聖歌、典礼歌、バッハ、モーツァルトなどの作品で実施。
- ・12/23(水)クリスマス音楽の集い、12/24(木)プレミサのための、音楽チームのミーティングを 8 月中旬に行う。

(広報部)

- ・「つながり」に、イベント等の行事で掲載希望の記事があれば、広報部に連絡を下さい。

(地区会)

- ・11/8(日)チャリティーバザーについて、7/19(日)の地区役員会で、各地区出店内容が決定するが、中高生会、教会学校のゲーム等、および社会活動部の手芸品の販売について、例年通り実施をお願いします。

(社会活動部)

- ・12/5(土)クリスマス・チャリティーコンサートの開催。社会活動神戸センター;須磨夜回り会の支援を目的に実施。コンサートの出場者を募集、申し込締め切りは8月16日
- ・8/8(土)平和祈願ミサ後PM4:30~6:30に福島の子供達、母親も参加した交流会が開催されるのでキャンプに参加していない教会学校の子供達に対する呼びかけをする。

(その他)

- ・集会祭儀司式者、聖体授与を伴う病者訪問奉仕者のリフレッシュコースが9/23(水)、10/12(月)、11/23(月)に開催される。7月末に案内が配布される。
- 次回小教区評議会：10月11日(日)12:30～ 信徒会館第4会議室



2015年度第3回地区役員会(2015年7月19日)議事録

地区役員各位 12:30~13:30

1 納涼のタベ(8月15日)について(木村さん)

出店地区と出店内容を確認した。

イベントは、蛭田さんグループのウクレレ演奏と橋岡さんご夫妻のカントリー。

当日13時集合で会場設営を行います。皆様のご協力をお願いします。

2 チャリティーバザー(11月8日)について(長瀬さん)

出店地区と出店内容を下記の通り決定した。

- | | |
|-----------|---------------------|
| ・灘北1・北・三田 | カレー 洗い場 |
| ・灘北2・阪神 | 蚤の市 |
| ・灘南・神戸西 | 飲物 綿菓子 ポップコーン |
| ・灘西・中央 | かやくごはん イグナチオホール係り |
| ・東灘北1 | 豚汁 |
| ・東灘北2・芦屋 | 焼きそば 焼き鳥 |
| ・東灘南 | 古着 巻きずし おにぎり 手作りお菓子 |
| ・中高生会 | 喫茶 |
| ・教会学校 | ゲーム 雑貨 |
| ・社会活動部 | 手芸品 ボランティアグループ出店 |
| ・図書室 | 古本市 |

3 小教区評議会(7月12日)から

①典礼聖歌集について

②教会事務所がお休みの日の教会の安全対策について

※ 詳しくは小教区評議会議事録をご覧ください。

次回地区役員会 9月6日(日)12:30~

侍者錬成会

今年4月に初聖体を受けた子供達が、できるだけ早く侍者として典礼に関われるようにと、6月28日(日)、7月5日(日)に侍者錬成会を行い、小学三年生5名が侍者の奉仕を始めるにあたっての勉強をしました。すでに侍者をしている小・中学生も両日で14名参加し、侍者の動きの練達と新人の練習を手伝いました。錬成会冒頭でアルフレド神父様から、侍者はとても大事な役割なので誇りをもって奉仕をしましょう。まちがったり忘れたりすることは仕方がないけれど、まちがえてもきれいに丁寧にまちがえるように、堂々としてください、と伝えられ、参加した子供達は少し緊張した面持ちになりました。聖堂での侍者の実践練習は5人の新人にとって難しかったようですが、迷っている新人に先輩の侍者達がそつと教える光景が何度もあって、まだよく理解しない年少者に教えるほどの先輩達の成長ぶりもうれしく思います。これから侍者を始める子供達は、7月の子供と共に捧げるミサの中でアルフレド神父様から祝福を授けていただきました。不安な気持ちを抱きながらも、子供達はミサの奉仕者としてその一步を踏み出します。

(典礼部 橘)

<侍者の奉仕を始める子供達の感想>

すごく ふだんやっている侍者がよかったです。すごく楽しかった。(からす野)

【楽しみなこと】ろうそくをぬいて神父さまについていく。(さいとう)

すごくしずかでした。ものすごくむずかしかった。(中西)

【気をつけたほうがいいこと】となりの人とあしをそろえる。楽しみなことはない。がんばる。

(まつだ)

わたしは じしゃをするけれど、ドキドキします。(メツガー)

《各部だより》 各専門部会の活動をお知らせいたします

教会学校

8月7日(金)～10日(月) キャンプ

30日(土) 教会学校リーダー会

9月5日(土) 教会学校始業式

社会活動部

9月12日(土) 炊き出し

中高生会

8月12日(水)～14日(金) キャンプ



《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

ボランティアグループの紹介 その4 (社会活動部)

コンゴの子供の教育基金

竹内

海星女子学院を卒業され、マリアの宣教師フランシスコ修道会でシスターとして修道生活の大半をコンゴで働かれて居られるシスター佐野を支援しています。

貧困の為に教育を受けられない子供たちが多い事、教育を受けなければ安定した収入を得る事に就けない事、次の世代にもその繰り返しである事等、シスターから現状を伺ううちに何か援助が出来ればと、海星の同窓生が中心となって 神様から与えていただいている多くのお恵みに感謝するだけでなく、＜支援を必要とする人たち＞のために 一歩踏み出しました。

手作りの品々、雑貨 等 ふれあい広場、チャリティーバザーで販売させて頂き、修道院を通じて送金しています。

六甲 youth 会

六甲教会には高校卒業～30 才までの若者が約 130 名も在籍しています。しかし、その多くが大学で神戸を離れていたり、仕事が忙しかったりと、なかなか教会との関わりを持てずにいます。

日々忙しくてなんとなく教会から離れている仲間と繋がりを持ちたいと思い、若者の集まりを企画しています。その名も「六甲 youth 会」。

4 月に Restart! として始まり、6 月 14 日 (日) に第二回を実施しました。

日曜日の昼ごろから集まり、分かち合いとアルフレッド神父様にごミサをして頂いたあと、ご飯を食べて楽しい時間を過ごしています。

若者が気軽に集まり、日々の生活の中での想いを分かち合い、教会と繋がる場所として今後も活動を広げたいです。



次回は 8/23 (日)

分かち合いのテーマは未定ですが、BBQ を予定しています！是非知り合いの若者にもお声掛けください。出席のご連絡先: youth. rokko@gmail.com (企画チーム)

8 月、「イグナチオ喫茶」はお休です。
ご注意ください。





混声合唱団からのお知らせ



混声合唱団は、現在 40 名弱の部員がいます。小学唱歌や日本民謡、世界民謡など広く歌い、近隣の老人施設の慰問もしています。

歌を通じてお互いのコミュニケーションが図れ、健康にもいいですよ。みんなで楽しく歌いましょう！特に若い男性の参加をお待ちしています。

詳しくは、蛭田武、藤井恵津子までお問い合わせください。



★★★ これからの練習日 ★★★

- ・ 8 月 9 日（日）11:15～13:00（ホール） ・ 8 月 30 日（日）11:15～12:45（ホール）
- ・ 9 月 13 日（日）12:00～13:00（第 1, 2） ・ 9 月 27 日（日）12:00～13:00（第 1, 2）



朗読奉仕者の皆様へ!!

典礼部

典礼部では 8 月 23 日（日）12:30 から主聖堂で「朗読奉仕者勉強会」を行います。当日は、アルフレド神父様にもご出席いただき、実際に朗読しお互いに聴きあうことにより勉強したいと思っています。朗読する部分は「聖週間の典礼《会衆用》」の『ヨハネによる主キリストの受難』19 ページから 22 ページを使います。お持ちでない方は、事務所にコピーを準備しますのでお申し出ください。



手をつなぎ
べつないで
夏祭り!

8☆15 happy happy 2015

納涼の夕べ

日時 8月15日(土)
18:00～20:00 [17:00よりミサがあります。]
どなたでもご参加ください。

場所 カトリック六甲教会
神戸市灘区赤松町3-1-21 ☎ (078)851-2846

暑い夏の一夜、飲んで、食べて、遊んで…。
大人も子供も、みんなと一緒に
楽しいひと時を過ごしましょう！
ご近所の方もお誘いの上、
どなたでもご自由にお越しください。

焼き鳥
焼そば
おにぎり
飲み物各種

ヨーヨー釣り
ゲーム
綿菓子

いろいろなよーい!

いーい!

カトリック六甲教会

● 阪急六甲駅 → 徒歩5分
● JR六甲道駅 → 徒歩15分
(駅前より 市バス36系統 → 六甲登山口下車 → 徒歩3分)
● 新神戸駅 → 市バス2系統 → 篠原本町2丁目下車 → 徒歩3分
● 阪神御影駅 → 市バス36系統 → 六甲登山口下車 → 徒歩3分

当日は、テント張り等の作業により、
午前中から駐車場は使えません。
お車でのご来場はご遠慮ください。

※ 8月15日(土) 13時より会場設営を行います。多くの方のご協力をお願いします。
※ 当日のミサは17時です。



みんなの広場

その日のことども

8月15日と言えれば思い出す一言。「もう、空襲はないのですね」。外人が一人で街を歩けば穏やかでは済まないこともあった時代、国民服姿で風呂敷に包んだブルビアーレを手に危険をもちとわず生徒の家庭を訪ねておられたライフ神父様の一言です。

8月15日。『無原罪のお孕り』の必然とも言える『被昇天』が誤りない事実として宣言されたのは、何と1950年ピオ12世によってでした。7世紀には既に祝われていたと言うことですが。

守るべき日ではない「聖母の被昇天」の祭日、「童貞聖マリア無原罪のお孕りの大祝日」に始まり「童貞聖マリア被昇天の大祝日」に終わった、人間の愚かな所行の思い出に隠されて、忘れがちなこの日のことを忘れないようにしましょう。

1534年8月15日は、まだ司祭に叙階されてもいなかったロヨラの聖イグナチオが他の6人の同志と共に誓願を立てたイエズス会発祥の日であり、その同志の一人ザビエルの聖フランシスコが日本の土を踏んだのは1545年の8月15日でした。

殆どが平日に当たるため、恐らく大部分の信徒が触れることのない今日の集会祈願を読んでみましょう。

「全能永遠の神よ、あなたは、御ひとり子の母、汚れのないおとめマリアを、からだも魂も、ともに天の栄光に上げられました。信じる民がいつも天の国を求め、聖母とともに永遠の喜びに入ることができますように。」(毎日のミサ、2015)。

この日読まれる福音『ルカ1・39～56』も読みましょう。

聖イグナチオはマリア様を『われわれの貴婦人』と呼んでいました。騎士であったイグナチオにとってマリア様は『ママ』ではなく、自分が仕える『貴婦人』であったのでしょうか。

描かれるマリア様は美しい『貴婦人』ですが、現実の『マリア』はどのようなだったのか。すべてを心に納めるほかに為す術のなかった過酷な生涯を耐え抜いた『猛女』ではなかったか。それであればこそ毎晩口にする『Salve Regina』がわたしたちの切なる願いになります。

8月15日、本当のこの日を忘れないようにしましょう。

(ヨハネ三好)

教会報9月号の発行は、8月30日(日)です。 記事原稿は、8月16日(日)正午までに信徒会館 受付へご提出願います。(広報部) http://www.rokko-catholic.jp	カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 F A X 0 7 8 - 8 5 1 - 9 0 2 3 発 行 責 任 者 ア ル フ レ ド ・ セ ゴ ビ ア 編 集 広 報 部
--	---